



いで湯と城と文学のまち 四国・松山

# 道後温泉本館

国指定重要文化財

2024年7月11日全館営業再開

残したい日本の音風景100選  
美しい日本の歴史的風土100選

## ACCESS

### 松山空港から／

松山空港リムジンバス道後温泉駅前行きで約43分

▶タクシーで約29分 3,310円

### JR松山駅から／

伊予鉄道電停JR松山駅前より伊予鉄道市内電車道後温泉行きで約25分

▶タクシーで約15分 1,550円

### 松山市駅から／

伊予鉄道電停松山市駅より伊予鉄道市内電車道後温泉行きで約20分

▶タクシーで約12分 1,390円

### 松山観光港から／

松山観光港リムジンバス道後温泉駅前行きで約43分

▶タクシーで約27分 3,390円

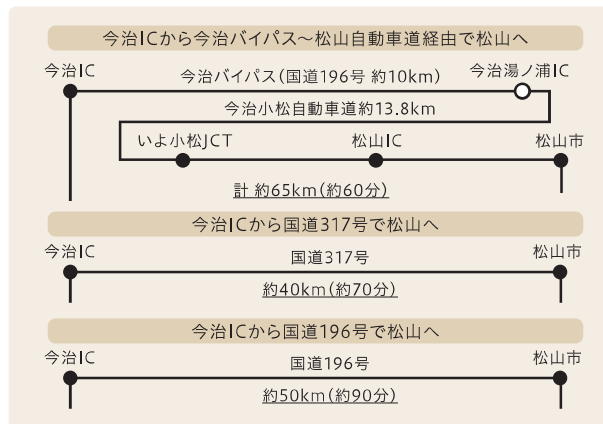
### 三津浜港から／

三津浜港から伊予鉄バス三津吉田線で約35分

松山市駅から伊予鉄道市内電車道後温泉行きに乗り換え、約20分

▶タクシーで約23分 2,750円

※乗車時間は道路事情により、実際と異なる場合がございます。タクシー料金は概算の金額です。走行距離で算出しており、信号や渋滞による停車などの時間は考慮していません。



## 道後温泉本館 (指定管理者 道後温泉コンソーシアム)

〒790-0842 愛媛県松山市道後湯之町5-6

TEL(089)921-5141 ホームページ <https://dogo.jp>



### 旅のことなら

#### ■松山市観光・国際交流課

〒790-8571 愛媛県松山市二番町四丁目7-2

TEL(089)948-6556

#### ■(公財)松山観光コンベンション協会

〒790-0004 愛媛県松山市大街道三丁目2-46

松山城ロープウェイ東雲口駅舎2F TEL(089)935-7511

#### ■道後観光案内所

〒790-0842 愛媛県松山市道後湯之町6-8

TEL(089)921-3708

# 道後を 巡ろう

日本最古の湯といわれる道後温泉。  
古くは聖徳太子が来浴し、  
斉明天皇も行幸された歴史があります。  
また夏目漱石をはじめとする  
文人墨客が来遊した湯のまちには、  
長い歴史を感じさせてくれる  
多くの見どころが点在しています。



## 道後公園（湯築城跡）



戦国時代、この地を治めていた河野氏の居住跡に整備した憩いの公園。復元された武家屋敷や資料館もあり。

## 子規記念博物館



松山市出身の文学者・正岡子規の偉業をはじめ、明治時代の松山や文学について紹介したミュージアム。

## 湯のまちで、パワースポットを巡る

道後のまちには、結びつける、復活させる、守る、そんなパワースポットが点在。



### 1 圓滿寺

江戸時代、道後の湯が止まった際に、ここに祈願することで湯が復活したという逸話が残っている。現在は開運アイテムのお結び玉が人気。



### 2 伊佐爾波神社

1967年に国の重要文化財に指定された「日本三大八幡造り」に数えられている。縁結びのご利益により、人々から信仰を集めている。



### 1 空の散歩道（足湯）

道後温泉本館の南、冠山へと続くゆるやかな展望散策道。山頂の足湯は湯のまちを眺める特等席で、夜にはロマンチックな夜景も一望のもとに。



### 2 第4分湯場

源泉から送られてきた温度の異なる湯をブレンドする様子が見られる。源泉に直接触れることができる手湯もあり、泉質を確認することが可能。



### 3 湯神社・中嶋神社

道後温泉に縁の深い大国主命と少彦名命が祀られた湯神社は、開運や縁結び祈願で人気をよんでいる。境内にはお菓子の神様である中嶋神社も。



### 4 湯釜薬師

明治27年頃まで道後温泉本館で実際に使われていた湯釜。宝珠にしたためられた「南無阿弥陀仏」の文字は、一遍上人の筆と伝えられている。



### 3 坊っちゃんカラクリ時計

道後温泉駅前の放生園にあり、定時になれば小説「坊っちゃん」の登場人物の人形が登場。ユーモラスな動きと音楽を楽しむことができる。



### 4 道後温泉駅舎

あたかも明治時代に旅したかのような佇まいを醸し出す駅舎。夜にはライトアップされた坊っちゃん列車が駐機し、雰囲気盛り上げている。

## 外湯めぐり

### ㊦ 椿の湯 つばきのゆ



道後商店街の中央に位置し、蔵屋敷風の落ち着いた雰囲気、浴室には花崗岩が使われ、道後温泉特有の湯釜も置かれています。温泉は、道後温泉本館と同じく無加温・無加水の「源泉かけ流し」の湯です。

| 料金 | 大人(12歳以上) | 小人(2～11歳) | 営業時間                 |
|----|-----------|-----------|----------------------|
|    | 450円      | 150円      | 6:30～23:00(札止 22:30) |

### ㊦ 道後温泉別館 飛鳥乃湯泉 あすかのゆ



「椿の湯」の隣りに新しくできた、聖徳太子が来浴したとされる飛鳥時代の建築様式を取り入れた湯屋です。道後温泉本館と同じく、全国でも珍しい加温も加水もしていない源泉かけ流しの「美人の湯」を満喫することができます。約60畳の大広間休憩室等では、道後温泉ならではの「おもてなし」の給茶サービスが受けられます。

| コース              | 内 容                | 料 金                                   | アメニティ・サービス                          | 営業時間                    |
|------------------|--------------------|---------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------|
| 1階浴室             | 1階浴室入浴のみ           | 大人: 610円<br>小人: 300円                  | なし                                  | 6:00～23:00<br>(札止22:30) |
| 2階大広間            | 1階浴室入浴+<br>2階大広間休憩 | 大人: 1,280円<br>小人: 630円                | 貸浴衣/<br>お茶・お茶菓子                     | 6:00～22:00<br>(札止21:00) |
| 2階個室             | 1階浴室入浴+<br>2階個室休憩  | 大人: 1,690円<br>小人: 830円                | 貸浴衣/貸タオル<br>/お茶・お茶菓子                | 6:00～22:00<br>(札止21:00) |
| 2階特別浴室<br>(家族風呂) | 1階浴室入浴+<br>2階特別浴室  | 1組: 2,040円+<br>大人: 1,690円<br>小人: 830円 | 貸浴衣/貸タオル/<br>貸バスタオル/貸湯帳<br>/お茶・お茶菓子 | 6:00～22:00<br>(札止20:40) |

※ボディソープ / シャンプー / コンディショナー / ドライヤー完備

## 多くの業績を残した偉人 道後湯之町初代町長、伊佐庭如矢

### 道後温泉中興の祖 伊佐庭如矢 いさにわ ゆきや



伊佐庭如矢は明治22年、町村制実施により道後湯之町の初代町長に就任しました。彼が人々に訴えたのは、老朽化した道後温泉の湯屋の改築です。莫大な費用がかかることから反対する町民に対して、「100年後までも他所が真似できないものを」と主張し、今の道後温泉本館の礎をつくりあげました。このほか、松山城の廃城阻止にも力を尽くすなど、松山市のまちづくりに貢献しました。



#### ■ 松山城の廃城阻止

松山市の中心にそびえ立つ松山城は、明治6年、政府の廃城令を受けて取り壊しの危機に瀕しました。当時、県の官吏をしていた如矢は、松山城の公園化を訴えた嘆願書をつくり、城を救うために尽力。その結果、松山城の公園化が認められました。



#### ■ 道後温泉の興隆

如矢が町長に就任した頃、道後温泉の建物は老朽化がすすんでいました。養生湯の改築にはじまり、本湯(神の湯)の改築、霊の湯、又新殿の竣工まで10年ほどかけて築き上げ、現在のような壮麗な三層楼の建物を作りました。こうして道後温泉の興隆をもたらしたのです。



#### ■ 道後公園の整備

中世の伊予守護であった河野氏の居城があった場所は、廃城後荒廃が進み、明治時代には竹やぶや雑木が生い茂っていました。そこで如矢は愛媛県との協力のもと、築山をつくり、植栽を施す整備事業を行います。園路を巡らせ、内濠に橋をかけた公園は、入浴客の散策の場となりました。



#### ■ 道後鉄道の建設

如矢の功績のなかでも、入浴客の誘致のために行った道後温泉までの鉄道敷設は大きな効果をもたらしました。道後鉄道を設立し、明治28年には一番町～道後間、道後～三津口間の運行を開始。県外や松山市内から大勢の人を道後へと運びました。



## 霊の湯三階貸切室

### 飛翔の間



|                   |                                |
|-------------------|--------------------------------|
| 営業                | 8時、11時、14時、<br>17時、20時<br>5組限定 |
| 利用時間              | 90分                            |
| 1室利用料金            | 3,000円                         |
| 大人                | 1,300円                         |
| 小人                | 650円                           |
| ※事前予約制<br>※定員:10名 |                                |

### しらさぎの間

|                |                                                   |
|----------------|---------------------------------------------------|
| 営業             | 6時30分、9時30分、<br>12時30分、15時30分、<br>18時30分、<br>5組限定 |
| 利用時間           | 90分                                               |
| 1室利用料金         | 6,000円                                            |
| 大人             | 1,300円                                            |
| 小人             | 650円                                              |
| ※事前予約制 ※定員:18名 |                                                   |



全館営業再開で、新しく2部屋を休憩室としてお客様に開放しています。

※三階貸切室は、1室利用料金に加えてご利用人数分の料金が必要です。

内容 | [神の湯](#) [霊の湯](#) [又新殿自由観覧](#) [貸タオル](#)  
[貸バスタオル](#) [貸浴衣](#) [お茶](#) [お茶菓子](#)

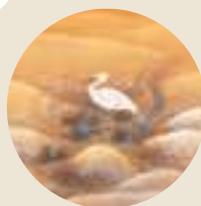
## 坊っちゃんの間



道後温泉本館改築後の明治28年(1895)に松山に赴任した夏目漱石がその年の10月、正岡子規と利用したといわれる個室(霊の湯三階個室の北西の角部屋)で昭和41年(1966)に、夏目漱石の娘婿である文人・松岡譲氏が「坊っちゃんの間」と命名しました。文豪・夏目漱石が通った頃の面影を今でも味わえます。

## 語り継がれる歴史・伝説

### 白鷺の伝説



「伝云、古此湯少し湧出したり、鷺の足かたはなるが、常々来りて足を浸す、幾程となく平癒したり、故に此所を鷺谷と云」郷土地誌「予陽郡郷俚諺集」には、道後温泉は白鷺により発見せられ、人々がその霊験を知って入浴するようになったと伝わります。



### 熟田津の歌

「熟田津に船乗りせむと月待てば潮もかなひぬ今はこぎいでな」は斉明天皇率いる船団が出港するにあたり、額田王が作った歌といわれています。



### 玉の石

伊予国風土記逸文には、大国主命が重病の少彦名命を掌にのせて道後の湯であたためたところ、たちまち元気になり石の上で踊ったと記されています。



### 一遍上人と湯釜

道後の宝蔵寺に生まれた時宗の開祖である一遍上人は、正応1年(1288)、河野通有の依頼で、湯釜の宝珠に「南無阿弥陀仏」の六字の名号を書いたと伝えられています。



### 聖徳太子と湯の岡の碑文

法興6年(596)、道後に訪れた聖徳太子は明媚な風光と良質の温泉を推賞せられ、湯の岡に温泉の碑を建立されたと伝わります。

## 神の湯階下



|      |        |
|------|--------|
| 営業   | 6～23時  |
| 札止   | 22時30分 |
| 利用時間 | 60分    |
| 大人   | 700円   |
| 小人   | 350円   |

石造りの浴室に砥部焼の陶板壁画が飾られ、「湯釜」と呼ばれる湯口が鎮座する浴槽は、道後温泉本館の独特な雰囲気を作り出しています。

内容 | 神の湯

※ボディソープ / シャンプー / コンディショナー / ドライヤー完備

## 神の湯二階席

|      |        |
|------|--------|
| 営業   | 6～22時  |
| 札止   | 21時    |
| 利用時間 | 60分    |
| 大人   | 1,300円 |
| 小人   | 650円   |

※定員:70名



開放感がある55畳の大広間。夏季は障子を外してすだれが掛けられ、さらに開放的な気分を味わえます。

内容 | 神の湯 貸浴衣 お茶 お茶菓子

## 又新殿



|      |       |
|------|-------|
| 営業   | 9～17時 |
| 所要時間 | 15分程度 |
| 大人   | 500円  |
| 小人   | 250円  |

※事前予約制  
※定員:10名

明治32年(1899)に完成した皇室専用浴室。玉座の間、御居間、御湯殿など、豪華絢爛な空間が広がります。

## 霊の湯



男子浴室



女子浴室

皇室の随伴者用の浴室にあてられたといわれる男子浴室は、大理石や庵治石、大島石といった高級石材を使用した豪華な造りになっています。

中央に置かれた湯釜から大国主命と少彦名命の二神像が見守る開放的な浴槽が特徴的です。

※ボディソープ / シャンプー / コンディショナー / ドライヤー完備

※霊の湯は、霊の湯二階席・三階個室・三階貸切室の利用者のみ入浴いただけます。

## 霊の湯二階席



|      |        |
|------|--------|
| 営業   | 6～22時  |
| 札止   | 21時    |
| 利用時間 | 60分    |
| 大人   | 2,000円 |
| 小人   | 1,000円 |

※定員:20名

大正時代に建てられた南棟にある休憩室。歴史ある建物の中にモダンな雰囲気が感じられます。

内容 | 神の湯 霊の湯 又新殿自由観覧 貸タオル

貸バスタオル 貸浴衣 お茶 お茶菓子

## 霊の湯三階個室

|      |        |
|------|--------|
| 営業   | 6～22時  |
| 札止   | 20時30分 |
| 利用時間 | 90分    |
| 大人   | 2,500円 |
| 小人   | 1,250円 |

※全8部屋



かつて「上等」と呼ばれ、小説「坊っちゃん」の一説にも出てきます。お風呂上りに個室でゆっくりとくつろげます。

内容 | 神の湯 霊の湯 又新殿自由観覧 貸タオル

貸バスタオル 貸浴衣 お茶 お茶菓子

## 道後温泉本館 館内図

道後温泉本館は

1階が<sup>かみ</sup>神の湯と<sup>たま</sup>霊の湯の2種類の浴場、  
2階が皇室専用浴室の又新殿と大広間の休憩室、  
3階は個室の休憩室と貸切室になっています。  
それぞれを組み合わせた6つの入浴コースがあります。

<sup>しん</sup>ろ <sup>かく</sup> <sup>とき</sup>

振鷲閣と刻太鼓は

「残したい日本の音風景100選」に  
選ばれています。

太鼓は、時刻を告げる刻太鼓として、朝6時に6回、正午に12回、  
夕方6時に6回の1日3度打ち鳴らされ、温泉情緒を醸し出しています。



詳しい情報は  
道後温泉公式サイトへ

【公式サイト】道後温泉  
<https://dogo.jp>

